

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2013年10月19日）

7時20分頃、無事出発しました。この日の参加者は、学生27人、市民9人（高校生2人）、押し花の講師の先生1人、教員1人の38人でした。板柳高校の高校生も2人参加してくれました。男女比は男性27人、女性11人です。バスは順調に進み、10時30分頃野田村に到着。それぞれの活動を開始しました。



恒例の道の駅「おりつめ」での集合写真

この日は、大きく2つに分かれて活動を行いました。交流茶話会と押し花教室のグループと中学生の学習支援グループです。



押し花教室の様子。野田の皆さんとお茶を飲みながら押し花を作ります。

交流茶話会と押し花教室のグループは、午前は野田村中学仮設の集会所で、午後は生涯学習センター（図書館）の作法研修室で行いました。仮設住宅集会所に到着すると、もうすでに数人の方が入り口横に座って待っていて下さいました。急いで準備をして、交流茶話会と押し花教室をスタートさせます。同時に、仮設住宅を1軒1軒回って交流会のお誘いもしました。今回は初めて参加した学生も多く、ちょっと戸惑い気味の学生もいましたが、みんな和やかな雰囲気のもとで交流をはかることができました。午前は、仮設住宅に

お住いの方を中心に 5~6 人の方が来てくださいました。12 時を過ぎたところで片づけを始め、生涯学習センターに移動します。活動場所が 2 か所になると、準備・撤収の時間が掛かるので、なかなか手間がかかります。12 時 40 分過ぎにようやく移動が終了し、慌ててお昼を食べ、午後の部の準備を始めます。すでに野田の方が訪ねてきてくれたのですが、少し待たせることになってしまい、申し訳ないことをしてしまいました。午後も午前と同じように、5~6 人の方に参加していただき、終始和やかな雰囲気のもとで交流活動を行うことができました。

午後は、初めての参加者も多かったので、学生事務局のスタッフやベテランの市民参加者についていく形で、少人数のグループに分かれて村の中を歩いて回りました。交流会のチラシ配りが名目ですが、大きな目的の一つは、初めて参加した学生に震災のことを肌で感じてもらうということにありました。それぞれのグループで村のいろいろなところを回り、各々が様々なことを感じ取ってきたようです。



中学生への学習支援。意外と学生が苦しんでいました…。

今回からの新たな取り組みとして、チーム北リアスの現地事務所をお借りして中学生への学習支援を行いました。初めての試みだったので、中学生が集まってくれるか心配をしていましたが、事務所に着いてみると野田中学の先生が 4 人の生徒さんを連れてきて下さっていて、何とか学習支援は無事スタートしました。しかし、最初は学生も緊張気味で、部屋の中にはぎこちない空気が流れていました。さらに、いきなり数学の証明問題を教えて欲しいと言われて、学生たちは悪戦苦闘。なかなか大変そうでした。午後も 2 人の中学生が来てくれたようで、学習支援の初日としてはまずまずの成果だったのではないかと思います。

さらに、いつものように児童クラブでの学習支援も予定していたのですが、この日は小学校で学習発表会があり、参加者は少ないだろうというお話でした。実際に午後になってから顔を出してみると、誰も来ていなかったのですが、今回はこちらの活動はお休みかなと思っていました。しかし、2 度目に顔を出した際には 2 人の子どもが来ていたので、急遽 1 人の学生に児童クラブに行ってもらい 1 時間程でしたが、子どもたちと遊んでてもらいました。

この日のお昼は米田地区の皆さんに松茸ご飯をご馳走したいと言っていたき、みんな
で松茸ご飯弁当を頂きました。毎回のように野田村の皆さんにはお気遣いを頂いて、感謝
の気持ちでいっぱいです。



本日のお弁当と食事風景

今回は、本学 21 世紀教育科目の「東日本大震災復興論」が始まって最初の活動日だったので、初めてボランティア活動に参加する学生が多くいました。初めて参加した学生にとっては、思っていたボランティアのイメージと違っていただけで、戸惑いもあったようでした。帰りの車中の感想やアンケートを見ると物足りなさを感じた学生もいたようです。せっかく「東日本大震災復興論」を履修したのですから、毎月このような活動を繰り返している意義を考えてもらいたいと思いますし、ただ言われた活動をやるのではなく、積極的な提言も期待していきたいと思います（もちろん、実現可能なものである必要はありますが）。

最後に、今回は活動が多岐に渡り、参加者が分散する形になりましたが、学生事務局が活躍してくれたお蔭で、全員無事に弘前に帰ってくる事が出来ました。まだまだごちなさも残っていますし、若干の危なっかしさも感じる場面はありましたが、着実に力をつけてきてくれているなという印象を持ちました。

(担当 平野潔)